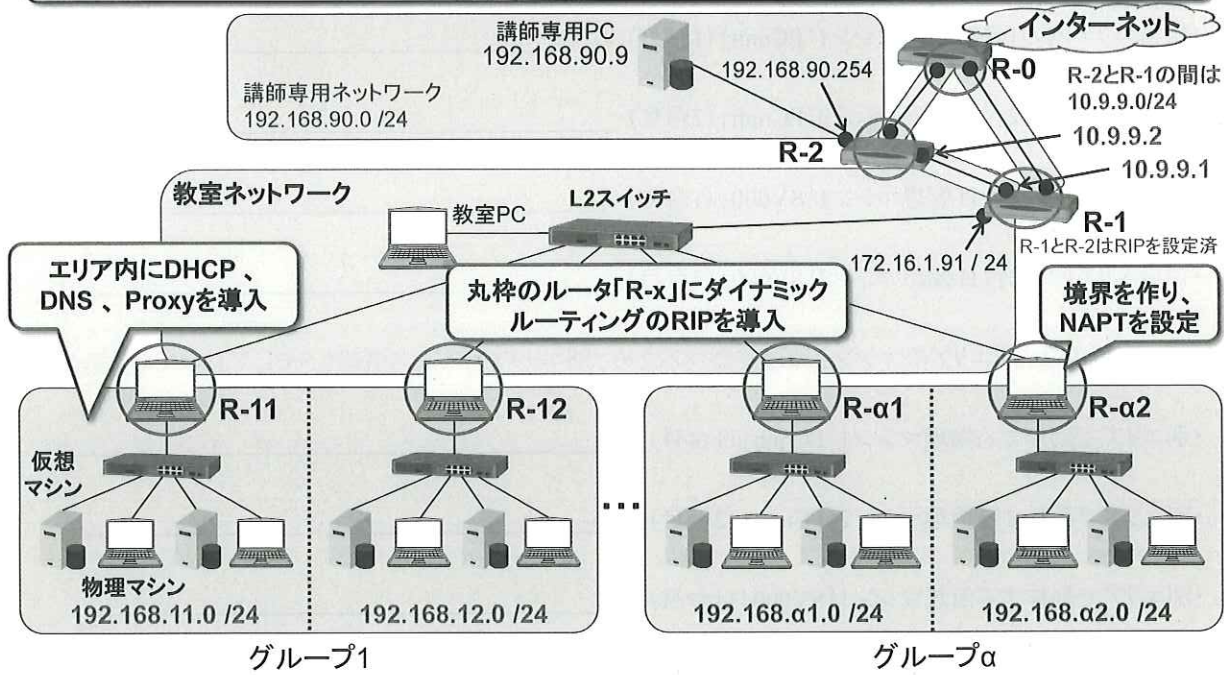


ネットワークの基礎ステップアップ編 (補助資料)

実習構成図

演習で使用するパラメーターについて、本資料を活用してください

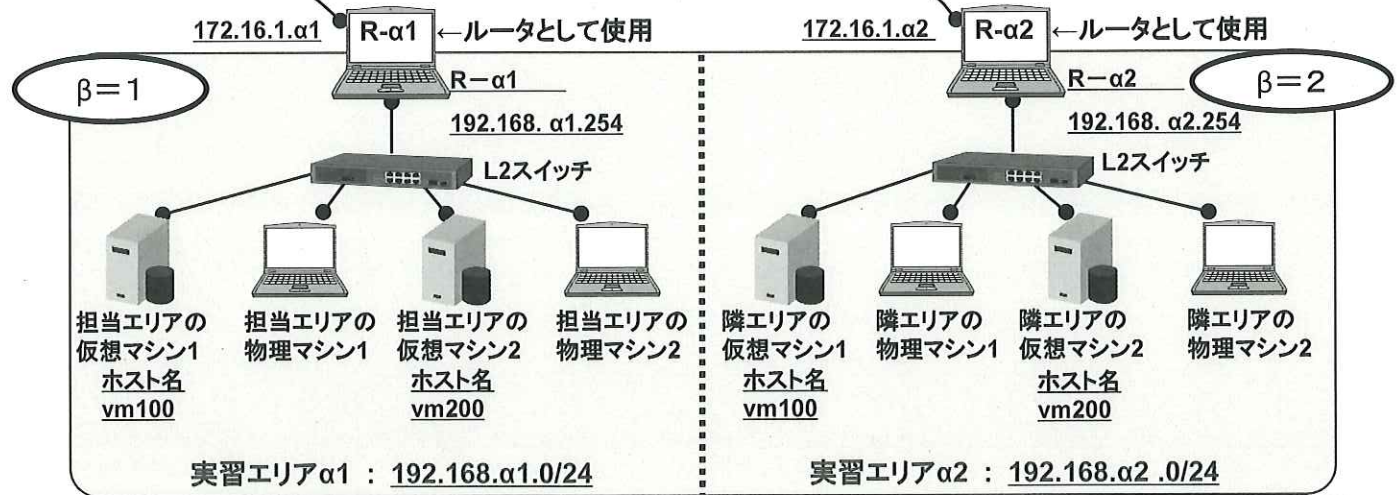


上図は実習の構成図です。仮想マシンも含めて複数のマシンを1グループで使用します。担当エリアで設定するIPアドレスは以下のとおりです。αβの数字は講師が指示します。(βは、1または2です。)アドレスを手動設定する時など、間違えないように注意してください。

- ・ルータの教室ネットワーク側のIPアドレス : 172.16.1.αβ (実習機材に依存するため講師が指示)
- ・ルータの業務エリアαβ側のIPアドレス : 192.168.αβ.254
- ・1台目の物理マシンのIPアドレス : 192.168.αβ.111
- ・2台目の物理マシンのIPアドレス : 192.168.αβ.222
- ・1台目のサーバ(仮想マシン)のIPアドレス : 192.168.αβ.100
- ・2台目のサーバ(仮想マシン)のIPアドレス : 192.168.αβ.200

4章名前解決(DNS)の実習では、DNSサーバに登録するホスト名は以下で統一します。

- ・1台目の仮想マシンのホスト名 : vm100 ※テキストでは「SV000」(1台目)と表記
- ・2台目の仮想マシンのホスト名 : vm200 ※テキストでは「SV000」(2台目)と表記



ネットワークの基礎ステップアップ編 (補助資料) パラメーター設計書

以下に自身の担当する範囲(エリアαβ)のアドレス情報を確認しメモしておいてください。

・担当エリア内の1台目物理マシン1「PCnnn」(1台目) _____

・担当エリア内の2台目物理マシン2「PCnnn」(2台目) _____

・担当エリア内の1台目仮想マシン1「SV000」(1台目) _____

・担当エリア内の2台目仮想マシン2「SV000」(2台目) _____

また、実習では、別エリアのマシンと疎通確認するため、別エリアのアドレス情報もメモしておいてください。

・別エリアで動作する物理マシン1「PCnnn」(1台目) _____

・別エリアで動作する物理マシン2「PCnnn」(2台目) _____

・別エリアで動作する仮想マシン1「SV000」(1台目) _____

・別エリアで動作する仮想マシン2「SV000」(2台目) _____

※実習では、上記以外のパラメーターや仮想マシンが登場します。以下のスペースを活用してください。

Memo